



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

## 会長あいさつ

第六十代会長 馬場正春



伝統ある飯能ロータリークラブ 60代会長と節目の年を迎えるにあたり大変責任の重さを感じております。会員皆様方のご指導・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2023-24年度のRI 会長ゴードン R. マッキナリー氏のテーマである「世界に希望を生み出そう」に沿って、本年度の飯能ロータリークラブのテーマは「希望を繋ごう 60期として新たな善いことをしよう」です。

当クラブでは現在65名を超える会員で活動しております。他クラブから「人数が多く、活気があって良いね!」と言われますが、人数の多さだけではなく、内容も活気あるクラブ活動ができるよう努力していく所存であります。

では活気あるクラブ活動とはどういうことなのか、それは国際ロータリーのテーマにもあるメンタルヘルスに関わってきます。メンタルヘルスとは“こころの健康”です。マッキナリー氏は他人を助ける事で本質的に自身が助けられると述べており、こころが健康な状態で培われるコミュニケーションはより良い連帯意識と仲間意識を育み、結果的にクラブの活気に繋がっていくとしています。

そうした事から、コロナの影響や世界を取り巻く問題が私達自身にも身近となっている今、地域で起こっている問題を取り上げ、人々を助けるための活動を行なっていく事が、クラブの活気を上げると共に、多くの人のこころの健康にも繋がると思うのです。

こころが健康であれば、そこからたくさんの希望が生まれ、明るい未来に繋がっていく、そうした考えから「希望を繋ごう」を今年のテーマとしました。

また、ようやくコロナも落ち着き従来の例会スタイルに戻していける中で、今までロータリーが築き上げてきた継続的な活動を行ないながらも、今だからこそ、私達にできる新たな活動を“善いこと”として実現し、次年度の60周年に繋げて行きたいと思っております。

最後になりますが、会員である皆様と共に連携を図りながら、今までのロータリークラブを元に温故知新の精神で、基本的には一年間楽しく活気あるロータリーライフを目指して行きたいと思っておりますので、一年間よろしくお願い致します。

# 任期を終了して

第六十代会長 馬場正春



本年は飯能ロータリークラブ60代会長として、責任の重さを感じたと共に充実した1年になりました。公式訪問例会では、第2570地区の高丹ガバナーに、私が深谷と飯能の繋がりで渋沢平九郎の話をした事で親しみをもっていただくことができ、また深谷の会長とも仲良くなれたことは私の大切な財産となりました。

今年度のテーマとして掲げた「希望を繋げる、善いことをしよう」の一つである子ども食堂については、現在社会福祉協議会との話し合いを重ね、支援ができるよう進んでおります。次年度以降のロータリー事業としての足掛かりとなる計画として、希望の一步を築いたのではないかと思っております。

また方針に基づいた主な活動を簡単に申し上げますと

**【交流活動】**ライオンズクラブ桜並木の協賛の件で、初めてライオンズクラブが例会場に来てくださいました。これを機会にクラブとの交流関係が続けばと思います。

**【例会】**市長を始め各委員会の企画で講師の方に卓話をして頂きました。またイニシエーションスピーチを多く取り入れ会員同士のことを知ってもらうきっかけを作りました。

**【委員会事業】**田辺ロータリー情報委員長による炉辺会談が2度に渡って行われ、入会して3年以内の方を対象にロータリーの基本となる勉強会を開催しました。また島田クラブ奉仕委員長の企画により入間ロータリークラブへのメイクアップツアーを開催。30名の参加を頂き、他クラブの活動内容を知ることができ大好評でした。

**【親睦】**委員会の皆様に頑張っていただき、今年もたくさんの行事を楽しく行うことができました。

**【財団補助金】**今年もせせらぎ杯が行われ、前年度を超える400名もの参加で盛大に行われました。

**【地区事業】**2月に齋藤栄作ガバナー補佐によるIM（相撲を通した街づくり）が行われ、わんぱく相撲出身の現役力士を招きました。3月には地区大会が「ロータリー理念と渋沢栄一思想を学ぼう」をテーマに行われました。市民の方達にも参加していただいた事により、ロータリーの活動を広める良いきっかけになったと思います。

その他具体的な内容は別途、活動報告として総括させていただきます。

今年はコロナで自粛されていた行事も全て元通りに開催され、多くの活動が行われました。その中で飯能ロータリークラブでは大人数を生かし、様々な交流を通して生まれたきっかけによって、これからの活気に繋がる1年になったのではないかと思います。この活気をそのままに次年度森会長に繋げ、60周年記念式典の成功に貢献できていれば幸いです。

最後になりますが、スタッフ・委員長に支えられ、事務局さんには大変お世話になり、会員の皆様にはご協力を頂いたことで事業を展開することができましたことを深く感謝いたします。

1年間ありがとうございました。